

TELOS 2800 Mono Power Amplifier

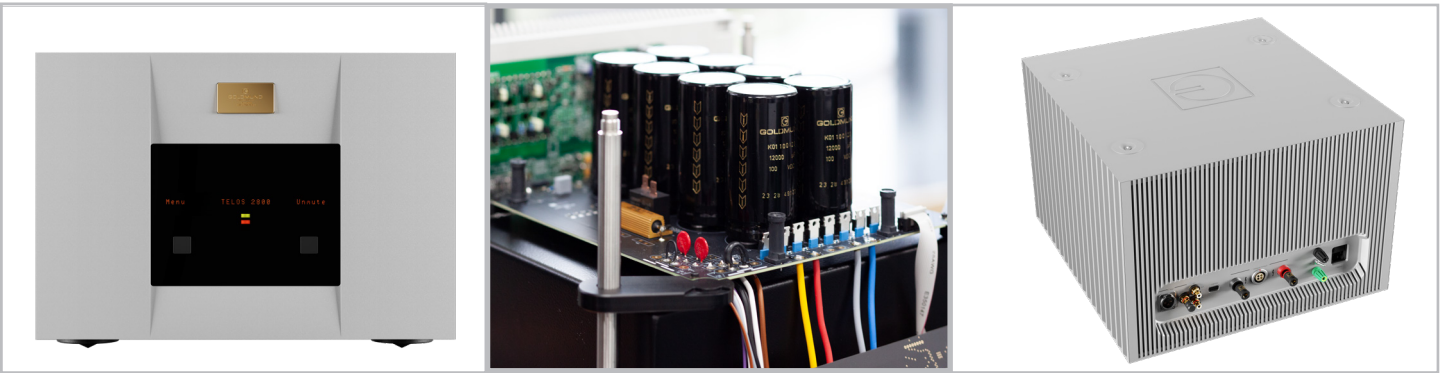


Goldmundの増幅技術を結集した高精度モノラル・パワーアンプ

Telos 2800は、Goldmund独自のTelos®増幅技術を核としたモノラル・パワーアンプです。
アナログ回路の高いリニアリティと広帯域設計を両立したClass A/B回路により、低歪で時間軸の整合性に優れた信号増幅を実現しています。
出力性能だけでなく、群遅延まで含めた精度を追求している点に設計アプローチの違いがあります。

高電流回路と低電流回路を分離した構成は内部干渉を抑え、微小信号の再現性と動作の安定性に寄与します。
さらにMechanical Grounding™を取り入れ、振動を制御することで、電気的要素と機械的要因の双方から音質を整えています。
出力インピーダンスの低減により低域の制動力も高められ、過度な膨らみのない自然な再生が可能です。

電源部には専用設計の大容量電源コンデンサを採用し、エネルギー供給能力と過渡応答を強化。
微小レベルから大出力まで一貫した特性を保ち、音量に左右されない再現性を確保しています。
電気・機械・時間軸を統合的に設計することで、高い再現性を支えています。



【主な特徴】

- 30Vrms出力時における0.05%以下のTHD+Nを実現した高精度増幅回路
- 35dBのゲイン、110dBのダイナミックレンジ、8Ω・1kHz時600のダンピングファクターによる高い制御性能
- 進化したMechanical Grounding™構造により、内部振動を徹底的に抑制し、信号純度を向上
- ギガヘルツ帯まで拡張した広帯域設計により、タイムディストーションを最小化し、優れた時間軸精度を実現
- Thermal Grounding™構造によりMOS-FETの温度変化を均一化し、安定した増幅特性と高い信号再現性を確保

【スペック】

- | | |
|---|---|
| ■アナログ入力端子：RCA(アンバランス)L/R×1、XLR(バランス)L/R×1 | ■出力ノイズレベル：3μV以下(20Hz～20kHz、RCA入力終端時) |
| ■デジタル入出力端子：RCAデジタル入力／出力端子×各1 | ■ゲイン：35dB |
| ■スピーカー端子：スピーカー出力端子(Goldmund Speaker 4Bタイプ)×1
バインディングポスト(赤／黒)×1 | ■ダイナミックレンジ：110dB(22kHz帯域、フラット特性、実効値測定) |
| ■定格出力：365W(IEC60065、8Ω負荷時、1/8出力) | ■ダンピングファクター：600 at 1kHz/8Ω |
| ■最大出力：450W RMS(8Ω負荷時、1% THD)
590W RMS(4Ω負荷時、1% THD) | ■電源部：3200VAトロイダルトランス
コンデンサ容量：109,600μF |
| ■高周波歪率：0.05%以下(20Hz～20kHz、30Vrms出力時) | ■寸法重量：440mm x 320mm x 460mm(WxHxD), 59kg |